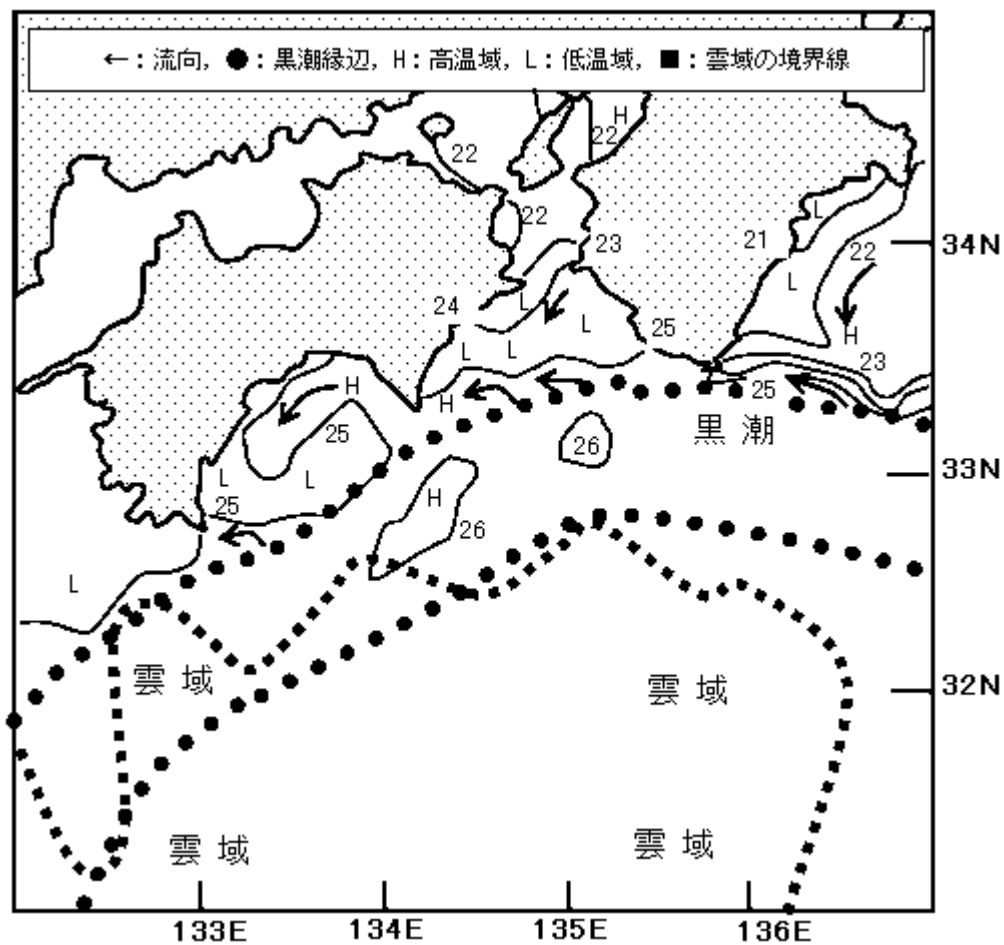


1. 海況の経過



上に和歌山県の人工衛星海況速報(H19.11.11~12)を示した。

黒潮は室戸岬沖でやや離岸し潮岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は25~26℃台である。

表面水温は播磨灘が21~22℃台、紀伊水道内部が21~23℃、外域は、内部から23℃台の内海水が南下している影響を受け、23~25℃台となっている。

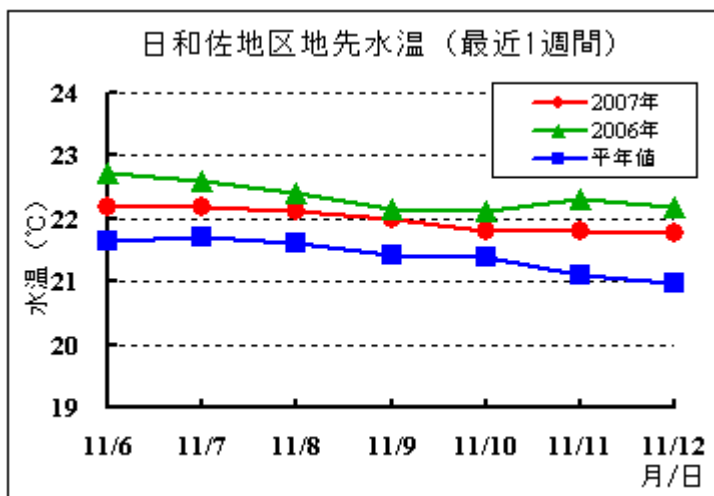
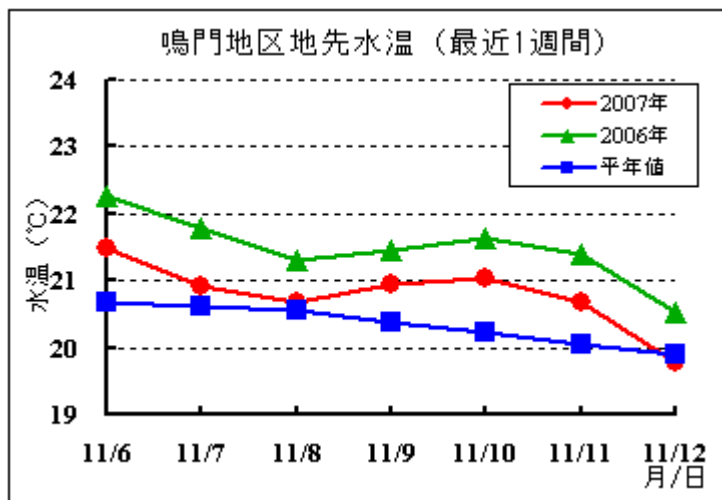
漁業調査船「とくしま」が11月8日に行った播磨灘海区の海洋観測結果は、水温は全層で「やや高め」の21.6~21.8℃であった。

播磨灘海区観測結果 (観測日 2007/11/8)

水温	水深				塩分	水深			
	表層	10m	20m	30m		表層	10m	20m	30m
今年値	21.8	21.7	21.6	21.6	今年値	32.7	32.7	32.7	32.6
平年偏差	0.9	0.9	0.8	0.7	平年偏差	0.7	0.7	0.6	0.5
前年偏差	-0.6	-0.7	-0.8	-0.8	前年偏差	0.8	0.8	0.7	0.6

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」~「やや高め」の19.8~21.5℃、日和佐地区は「平年並み」~「やや高め」の21.8℃~22.2℃、牟岐地区は「やや低め」~「やや高め」の20.8~21.7℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、大主体にサバフグが0.5トン(1日1隻あたり23kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、中主体にタチウオが1.1トン(同57kg)、小主体にマアジが0.8トン(同38kg)、マルソウダが0.6トン(同11kg)、かます類が0.6トン(同16kg)、大主体にヒラソウダが0.6トン(同21kg)、アオリイカが0.3トン(同4kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、特大主体にカツオが1.7トン(同418kg)、小主体にタチウオが1.1トン(同24kg)、特大主体にキハダが0.4トン(同214kg)、メジロが0.4トン(同15kg)、紀伊水道で大、中主体にサワラが0.8トン(同28kg)が水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが10.7トン(同108kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 11月06日～11月11日 県下8協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他	
延縄	海部沿岸	サバフグ	20	461	23	大主体	
小型定置網		タチウオ	20	1,134	57	中主体	
		マアジ	21	807	38	小主体	
		マルソウダ	57	643	11		
		かます類	39	611	16		
		ヒラソウダ	29	595	21	大主体	
		アオリイカ	63	262	4		
		釣り	カツオ	4	1,673	418	特大主体
タチウオ			48	1,131	24	小主体	
キハダ			2	427	214	特大主体	
メジロ			25	371	15		
紀伊水道			サワラ	28	795	28	大、中主体
パッチ網			シラス	99	10,725	108	

週間予報:

黒潮は室戸岬沖でやや離岸し潮岬沖で接岸する見込み。

地先水温は、鳴門地先が「やや高め」の19～20℃台、日和佐地先が「平年並み」の21～22℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の釣りでメジロが0.4トン(1日1隻あたり4kg)、パッチ網でシラスが12.8トン(同151kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが1.2トン、メジカが20.1トン、カマスが1.9トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上